

2022年11月11日

各 位

会 社 名 APAMAN株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大村 浩次
 (東証スタンダード コード8889)
 問 合 せ 先 管理本部副本部長 高田 雅弘
 T E L 0 5 7 0 - 0 5 8 - 8 8 9

特別損失の計上、通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)連結会計年度において、特別損失の計上を行うとともに、2021年11月12日に公表いたしました2022年9月期の連結通期業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

主に当社グループが保有するコワーキング施設の内装設備等について、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、減損処理を行い、減損損失 259 百万円を計上いたしました。

2. 2022年4月期通期連結業績予想と実績値の差異(2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,000	1,800	1,000	200	11.24
実績値(B)	44,926	1,893	1,419	262	14.69
増減額 (B-A)	△73	93	419	62	
増減率 (%)	△0.2	5.2	41.9	31.2	
(ご参考)前期実績 (2021年9月期)	44,419	1,356	795	602	33.87

3. 修正の理由

営業利益については、営業投資有価証券の評価減等がありましたが、Platform 事業が堅調に推移したこと、基幹システムリニューアルに伴う減価償却費等の発生が翌期となったこと等により、93 百万円増の 1,893 百万円となりました。

経常利益については、営業利益の増加に加え、為替差益 295 百万円の計上等により、419 百万円増加の 1,419 百万円となりました。

当期純利益については、前述の減損損失の計上や固定資産売却損等の計上がありましたが、経常利益の増加により、62 百万円増の 262 百万円となりました。

以上